



10th/56th

ANNIVERSARY



創立10周年/創基56周年記念誌



新潟県立大学 創立10周年・創基56周年記念誌



University of NIIGATA PREFECTURE 10th/56th ANNIVERSARY

contents

目次

基本理念と目指す5つの方向	p3
理事長・学長挨拶	p4
挨拶／祝辞	p6

第1章 新潟県立大学の歩みと展望

県立新潟女子短期大学の歩み	p10
新潟県立大学の歩み	p18
国際地域学部	p22
人間生活学部	p24
国際経済学部	p28
大学院国際地域学研究科	p30

第2章 新潟県立大学の記録

入試	p34
在籍者数	p36
図書館	p38
外国語教育	p40
国際交流	p42
キャリア支援	p44
学生支援	p46
学生の活動	p48
校章、学生歌	p50
地域連携	p52
研究	p56
FD・SD活動	p58
学生表彰	p60
関係団体	p64
組織	p66
歴代役員・教職員	p68
施設・設備	p72



基本理念

新潟県立大学を設置する趣旨は、東アジア交流の拠点となりうるポテンシャルや豊かな食、自然などの強みを生かし、東アジア諸国との交流の拠点として活力ある地域であるとともに、子育てしやすく、健康長寿を楽しめることによって人々から選ばれる地域を創るための様々な課題に対応する人材を育成することにあります。

これらの人材には、語学力やグローバルな視野などの国際性、地域への深い理解、また、国内外を問わず人と人との交流、共生を進める際に大切な豊かな人間性が求められます。

そのため、新潟県立大学は、「国際性の涵養」、「地域性の重視」、「人間性の涵養」、を大学の基本理念とします。

01

国際性の涵養

東アジア諸国との交流の拠点として、世界各国との交流の推進による地域の再生を図る新潟県においては、国際共通語である英語や東アジアの言語を修得し、異文化理解を深め、国際性を育むことが求められています。新潟県立大学は、東アジアをはじめとする世界の人々との社会的・文化的交流の促進を目指し、グローバルな視点からの教育・研究を進めます。

02

地域性の重視

グローバル化する地域社会にあって、地域の強みを生かして産業を発展させ、または地域の様々な課題を解決するためには、郷土の自然・文化を理解し、「自文化」を見直すことが求められています。新潟県立大学は、地域への深い愛情と理解を持って地域づくりや地域の共生を担う人材を育成し、地域社会に開かれた大学を目指します。

03

人間性の涵養

地域づくりの根幹は人づくりです。地域の人々を結びつけ、共に生きていく社会を創り出すためにも、諸外国との交流を進めていくためにも、人間性豊かな人材が求められています。新潟県立大学は、豊かな人間性を培うために、学生一人ひとりに対してきめ細やかな教育を行い、学生同士が切磋琢磨し学び合う環境をつくります。

目指す5つの方向

新潟県立大学は、「国際」「地域」「人間」の各視点から社会の諸課題を幅広く研究し、これらの課題の発見と解決を担う中核的人材を育成するとともに、地域づくりに貢献する大学を目指します。

- direction **1.** 変化する時代を乗り切る知力がある人材の育成
- direction **2.** グローバル社会を生き抜く語学力・コミュニケーション力がある人材の育成
- direction **3.** 地域社会の創生を担う実践力、保育と健康を支える専門能力がある人材の育成
- direction **4.** 個性を尊重し、社会を共に支え合う人間性溢れる人材の育成
- direction **5.** 傑出する教育研究と東アジアにおける新潟を高める社会貢献

理事長・学長挨拶



創立10周年を迎えて

公立大学法人 新潟県立大学
理事長・学長 若杉 隆平

新潟県立大学は2009年4月に設立され、本年創立10周年を迎えました。1963年に設立された県立新潟女子短期大学を母体としますので、半世紀を超えて歴代学長の下で築かれた基礎を受け継ぎ発展し続けてまいりました。本学が今日まで新潟における高等教育を担い続けることができたのは教職員・学生の努力によることはもちろんですが、新潟県民の皆様、とりわけ設置者である新潟県、議会、教育界、経済界等の方々の支援によるものと深く感謝致します。

創立以来、本学はリベラル・アーツ教育と専門教育の両立を目指してまいりました。グローバル化、ITの革新によって著しく変化する時代にあって、人は長い生涯を通じて様々な変化に直面します。職業に直結し、すぐに役に立つ実務的知識には、一旦習得しても異なる環境の下では役に立たなくなるものもあります。大学においては、専門分野において自らの役割を支える専門知を修得することと同時に、変化を認識し、適切に対応する上での基礎となる幅広い教養を修得することが重要であると思います。こうしたことから国際地域学部、人間生活学部の2学部体制で発足した本学は「国際性の涵養」「地域性の重視」「人間性の涵養」を全学共通の理念として教育研究に取り組んできました。

国際地域学部では語学教育に重点を置いてきました。語学力を高める教育は国際性を涵養する上で不可欠です。集中的な英語教育に重点を置きつつも、日本海を挟んで東アジアに面する新潟の地理的歴史的特徴を踏まえて、ロシア語、中国語、韓国語の教育にも力を注ぎました。その上で、国際社会・比較文化・東アジア・地域環境の各専門分野における専門知を深めるための教育を重ねる重層的な教育を展開してきました。幅広い国際的視野、深い教養、しっかりとした専門知の基礎を備えた数多くの学生を社会に送り出すことができたのではないかと思います。

人間生活学部では人間の育成に深く関わる専門知を養う教育を行ってきました。保育士、幼稚園教諭をはじめとする幼児教育に携わる専門家、社会福祉に関わる専門家、管理栄養士をはじめとする健康・食・栄養に携わる専門家を目指す学生への教育を担う屈指の教育研究拠点となっています。専門職業分野において活躍するのに必要とされる基礎的な専門力とともに幅広い視野と豊かな人間性を持つプロフェッショナルを長きにわたり社会に輩出してまいりました。

教育と学術研究とは密接不可分です。本学が蓄積してきた国際関係、国際政治・経済分野の専門性をさらに高めるための教育研究組織として、2015年4月に大学院国際地域学研究科を設立しました。日本語に馴染みの薄い留学生であっても学位取得に必要な科目を全て英語で履修し、単位を取得し、修了するユニークなプログラムを有します。発足後間もない小規模な大学院ですが、国の内外から多様な学生を受け入れ、高度専門人材の育成を始めました。

新潟県立大学は地域社会と共に発展することを目指しています。本学の沢山の卒業生が社会を担う人材として活躍していますが、それだけではなく知の拠点として、地域社会、経済、産業と直接連携し、学術の成果を地域に還元する役割が大学に求められます。栄養学の分野での自治体との共同研究、国際政治や経済・産業分野での市民・産業人を交えての公開講座等に加えて、情報技術等の実践的専門性を重視したリカレント教育を始めるなど、社会との連携を深める取り組みを行ってきました。

10周年を迎え、本学ではこれまでの教育研究を振り返り、グローバル化、情報化が急速に進む時代にあって地域社会の発展を担い、世界に活躍する人材を育成する上でこれからの教育研究がどうあるべきかについて、全学的に検討してまいりました。学内はもとより学外有識者をはじめ各界の方々からいただいた意見をもとに検討を重

ねた結果、国際経済を主たる教育研究分野とする国際経済学部を設置する基本構想をまとめました。設置者の県をはじめ各界の支援の下に構想を具体化し、文部科学大臣に新学部の設置認可を申請する運びとなり、本年9月に文部科学大臣より国際経済学部新設の認可を受けるに至りました。明年4月には90名(定員)の学生を新たに迎え入れます。この学部では、経済・産業・企業に関する専門力、高いデータ・情報分析力、国際的コミュニケーションを可能とする確かな語学力を兼ね備えた人材の育成を目指して、国際水準の学部教育を展開します。

また同時に、教育研究の一層の充実を目指して国際地域学部においてコースを再編成すると共に、人間生活学部子ども学科の定員増を行うことにより、本学は開学以来の大きな改革を行います。

高度情報化社会の到来により、世界の各地域がネットワークで繋がり、進化する時代を迎えつつあります。以前にもまして幅広い視野、深い教養、確かな専門的基礎を備える人材の育成が必要となっています。創立10周年を起点として「国際性」「地域性」「人間性」を基本理念とする教育研究をさらに進め、素晴らしい人材が新潟の地から世界に向かって巣立つ拠点となるように、教職員・学生とともに努力を続けてまいります。今後とも引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

県知事挨拶



新潟県立大学 創立10周年を祝して

新潟県知事
花角 英世

この度、新潟県立大学が創立10周年という節目の年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

新潟県立大学は、「国際性の涵養」「地域性の重視」「人間性の涵養」を基本理念とし、平成21年4月の開学以来、グローバルな視野や高度な語学力、食や子育ての専門的知識を備えた実践力ある人材を数多く輩出するとともに、平成27年4月には大学院国際地域学研究科を開設し、大学全体としてより高度な教育研究に取組み、本県の発展に大きく貢献してこられました。

これもひとえに、学長をはじめとする教職員の皆様の教育研究に対する熱意と、関係者の皆様の御理解・御協力の賜物であり、深く敬意を表します。

この10年の間、グローバル化の進展や訪日外国人の増加など異なる文化等を持った者との交流の機会が増大するとともに、AI・IoTなどの技術革新やICTの進歩など、テクノロジーが急速かつ継続的に変化しており、こうした変化への適応力が求められています。

こうした背景から、中央教育審議会答申の「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」において、今後、社会を支え、社会を牽引する人材は、基礎的で普遍的な知識・理解等に加えて、数理・データサイエンス等の基礎的な要素を持ち、正しく大量のデータを扱い、新たな価値を創造する能力が必要になると指摘されています。

こうした中、令和2年4月に「国際経済学部」の開設が予定されております。「国際経済学部」では、「経済・産業・企業の仕組みを理解する力、情報データを駆使する力、確かな国際コミュニケーション力を複合的に有する人材」を育成することを目指しており、正に10年先、20年先を見据えた教育研究が行われ、そこで育成された人材が、将来、本県の産業・社会を支え、今後の発展の基盤となることを期待しているところです。

結びに、新潟県立大学の更なる発展と、関係各位の御健勝、御活躍を心から祈念して、お祝いの言葉といたします。

後援会長祝辞



新潟県立大学 創立10周年を祝して

新潟県立大学 後援会
会長 本間 剛三

新潟県立大学創立10周年を迎えられましたことは、後援会としても誠に喜ばしく、心からお祝い申し上げます。

この度、県立新潟女子短期大学時代から15年の長きに渡りご尽力をされました中野進前後援会長(名誉顧問)から引継ぎ、令和元年の新たなスタートの年に新潟県立大学後援会2代目の会長に就任いたしました。微力ではございますが、後援会の目的達成のため、鋭意努力してまいります。

新潟県立大学後援会の目的は、「当大学と会員との連絡を緊密にし、教育、研究の充実を図り、大学の発展に資する」とし、そのために、教育及び研究活動の後援、大学の将来計画の支援を行うことです。

後援会は、1963(昭和38)年開学の県立新潟女子短期大学時代から2009(平成21)年の新潟県立大学の開学を経て現在まで、半世紀を超えて発展的に活動を進め、これまで図書の寄贈、植樹、ビジネスリーダーズセミナー、大学間国際交流支援事業などを行ってまいりました。そして、この創立10周年を機に、記念寄付事業として新潟県立大学が進めるグローバル活動、就職活動、修学、施設整備、サークル活動等の充実を図るための事業を支援して行く予定です。

新潟県立大学は、「国際性の涵養」「地域性の重視」「人間性の涵養」を基本理念とし、東アジアをはじめ世界で活躍できる人材、地域の発展に貢献できる人材の育成を進めています。そして、2020(令和2)年には国際経済学部が開設され、国際・地域経済の舞台で活躍する人材の育成も始まります。現代のグローバルな社会経済、少子高齢化、地域活性化への対応を行うために、先を見据えた人材育成を行っている当大学への注目度は、今後更に高まるものと感じています。

結びに、創立10周年の記念すべき年にあたり、国際舞台や新潟の地域創生に活躍できる人材を一人でも多く輩出するために、大学と後援会がより一層連携して発展していくことを祈念しご挨拶いたします。

保護者会長・同窓会長祝辞



新潟県立大学
創立10周年を祝して

新潟県立大学保護者会
会長 鈴木 恭介

新潟県立大学創立10周年を迎えるにあたり、新潟県立大学保護者会を代表致しまして心よりお祝い申し上げます。また、県立新潟女子短期大学の時より現在まで支えてくださいました大学関係者の皆様方に心より御礼を申し上げます。

保護者会では大学事務局の皆様方と共に環境整備、学生の課外活動、キャリア活動、地域交流活動、教育活動奨励、学生生活支援などへの協力、また、卒業記念品贈呈を行い、学生たちが伸び伸びと充実した学校生活を望める環境づくりを心掛けています。

本学の基本理念の中に「人間性の涵養」とありますが、今、社会に目を向けますと、時代と共に、人の見方、考え方、行動も変わってきたように思います。その中で特に思いますのは、家族、地域、職場における繋がり希薄化、人とのつながりに不安を感じます。学生には勉学に励む事はもとより、あらゆる活動を通し協調性を身につけ、他を思いやれる人となり、豊かな人間性を形成して頂きたいと思います。私たち保護者会も精一杯の協力をさせて頂き、新潟県立大学より、地域、日本の未来を担う人材が輩出されて行くことを祈念してお祝いの言葉といたします。



新潟県立大学創立10周年・
創基56周年を祝して

新潟県立大学同窓会『かざし会』
会長 白井 智佳子

新潟県立大学創立10周年・創基56周年を迎えられたことに心よりお祝い申し上げます。昭和38年4月に県立新潟女子短期大学が創設され、昭和40年に県立新潟女子短期大学同窓会『かざし会』が発足しました。卒業・修了生が県内外・世界で活躍されていることを嬉しく思います。平成11年に「県立新潟女子短期大学の共学4年制化を進める会」が立ち上がり、大学の先生方と歩みを共にし、様々な取り組みをしてきたことが懐かしく思い出されます。以来当会は、同窓生・大学・在学生の支援活動を継続しています。県立大学創設から10年、その存在感は揺らぐことなく新潟県の高高等教育充実に寄与し活躍されている情報を見聞きする度、喜ばしく思う同窓生が多くいることでしょう。令和2年から国際経済学部が新設され、乳幼児教育・人の食と健康・地域の活性化・グローバル化社会を支える等の人材育成に加え、地域・国際社会の経済に優れた人材を育てる役割を担っていくこととなります。益々新潟の発展に希望の光が指すことにつながることでしょう。『かざし会』が発足して54年を迎えますが、これからも未来の子どもたちのために豊かで住みよい新潟であり続けられるよう新潟県立大学の活躍を後押ししていきたいと思います。